



本日の卓話 4月28日(火)

**「南出市長に学ぶ
～これからの地方自治とまちづくり」**

泉大津市長
南 出 賢 一 さん



次週の卓話 5月12日(火)

**「正しさより明るさ
～人生は学びと実践～」**

和歌山県倫理法人会
会長 **中 道 幸 代 さん**



先週の例会記録

- ✳️ロータリーソング 日も風も星も
 - ✳️ビ ジ タ ー 紹 介 なし
 - ✳️出 席 報 告 (会員数76名、免除会員4名)
本日出席(4/21) 52名 70.27%
 - ✳️メ イ キ ャ ッ プ 台湾板橋へ9名、地区へ4名
 - ✳️S. A. A. (ニコニコ箱)
松尾泰明さん、垣本英作さん、櫻畑直尚さん、
野志幸生さん、林 俊行さん、名手孝和さん、
宮崎 純さん、坂東信幸さん、紀 俊崇さん、
岩西智宏さん、中谷久生さん、村田弘至さん、
高川徹也さん、秦 崇さん
- 本日合計 **¥47,000**
今年度累計額 **¥2,142,065**



4月は環境月間です



誕生日お祝い

- (財団寄付献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん
- (米山奨学会献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん
- (青少年育成奨励金) 松尾泰明さん、垣本英作さん



会長あいさつ並びに報告 会長 **松尾泰明**



先週末、金土日で、台湾の姉妹クラブであります、板橋ロータリークラブ Archiさんがガバナーを務める国際ロータリー第3490地区の地区大会に参加してまいりました。和歌山からは総勢9名で参加いたしました。私自身台湾の地区大会に参加するのは初めてでした。

一言で言えばすごく派手な印象を受ける地区大会でした。その派手さを伝えるためにキーワードを3つ用意しました。

まず一つ目は、「大きい」です。パンフレットを眺めると、会場内の見取り図があって、そこには会場内に設営されている椅子も描かれておりましたので、足算したり掛算したり数えておりました。答えは1785くらいです。会場内では、ドローンカメラも飛んでいました。

2つ目は、「明るい」です。カラフルな照明が所狭しとありました。ステージの上にもサーチライトのようなライトが10台ほどあって、プログラムに応じてそれぞれ動くのでしょね。そしてなんとといっても、天井がこの会場より2～3m高いと思いますが、上半分が360度パノラマの液晶。ステージのバックサイドにおいては上から下まで全面液晶で目がチカチカしました。

3つ目は、「音が大きい」です。人間の心理もあると思います。どうしてもあれだけ広いと気にせずしゃべれる。そして、司会のマイク音量も大きいし、声・熱量も大きいので、隣の人とお話するのもどうしても大声になる。まあお国柄、国民性もあると思いますが、最後は全員が歌ってそして何故か全員で踊るといふ、私達も駆り出されて踊

りました。最後にと申し上げましたが、これは実はDinner breakの後(夕食後)という事でありましたから、本当に長い1日でございました。

最初に「派手」と申しあげましたが、改めて表現しなおして「大変賑やかな」地区大会であったと、楽しい良い経験をさせてもらいました。

それにしても、板橋RCの方たちは何時訪れてもすごく歓待してくれます。本当に有難いですね。

続きましてクラブ通アプリでの本日の登録数結果は、56名です。

来週4月末までがテスト期間です。

現在会員が76名ですから、90%を目指したいと思います。フードロスへの取り組みにも影響します。

ご協力よろしく申し上げます。

「2025-2026年度 新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議」開催!!

4月19日(日) 於：和歌山県JAビル



幹事報告

- 例会変更のお知らせ (和歌山南RC)
- 90周年実行特別委員会予定者会議
例会終了後「ブランシェ」
- 和歌山南RC65周年例会、ダイワロイネットホテル、4/26 17:30~
- 和歌山市内9RCのI.M.報告書 (ホスト：和歌山アゼリアRC)を配布。中谷久生理事の報告内容が掲載。

委員会報告



ロータリー情報委員会
村田 弘 至 委員長
第2回 I.D.M.のご案内



親睦・ソング委員会
濱田 勝 委員長
「春のBBQ家族会in萬波」のご案内



環境保全・社会奉仕委員会
岩西 智 宏 次年度委員長
新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議報告

卓話

「ロードレースの面白さ」



元プロロードレーサー
合同会社MYAO (ミャオ)
代表 渡邊 歩 さん

私が愛するロードレースの奥深さと、和歌山が秘める無限の可能性についてお話しさせていただきます。

ロードレースはただ速さを競うだけでなく、最大の敵である「空気抵抗」

といかに戦うかという究極の頭脳戦であり、チームスポーツでもあります。エースを勝たせるための自己犠牲の精神や、時に敵とも手を組む戦略的な駆け引きがたまらない魅力です。

ツール・ド・フランスが地域の絶景を伝える「自転車観光」へと発展したように、変化に富んだ地形や熊野古道の歴史、豊かな食が揃う和歌山は、まさに「サイクルツーリズムの宝庫」です。「和歌山城クリテリウム」や「ツール・ド・熊野」などの国際レースを通じ、和歌山の魅力を世界へ発信し観光振興に繋げることができます。

また、弊社合同会社MYAOでは、「恐怖」ではなく「楽しさ」から自然と安全なスキルを身につける新しい自転車教育にも挑戦しています。自転車を通じ、観光・教育・交通安全

への多面的なアプローチで、自転車を通して和歌山のさらなる発展に全力で貢献していきます。

最後になりますが、5月6日に今年も和歌山城クリテリウムが開催されます。

個人協賛も引き続き募集しております。

どうか熱い応援をよろしくお願いいたします。



紹介者の
野志会員



渡邊さんと松尾会長

台湾3490地区大会参加

松尾会長、垣本幹事、樫畑PG、林会員^{※1}、野志会員^{※2}、名手会員^{※3}、宮崎会員^{※4}、坂東会員^{※5}、前田会員の総勢9名で、台湾3490地区の地区大会(4/18)に参加してきました。

- ※1 会長エレクト副会長、※2 会計監査、※3 国際奉仕部門理事、※4 国際交流委員長、※5 ロータリー財団・国際奉仕委員長



4/17、姉妹クラブの台湾板橋RCを訪問。歓迎会を開催して頂きました。



台湾板橋RCの蔡会長(左)から記念品を受け取る松尾会長



台湾板橋RCからいただいた記念品